



いのち、痛み に 全力

VOL. **59**
2024 / Aug

地域医療により大きく貢献!!

CONTENTS

- 救急救命士紹介
- 第3回 カマチグループ “看護を考える” 講演会
- 認定看護師シリーズ
- 市民公開講座案内
- 福岡ハートラボ開催
- 令愛祭
- 海開き開催
- 医療連携医紹介





救命士 比嘉 泰樹

2024年3月に救急救命士国家資格を習得し、2024年5月より、当院で初の院内救急救命士として勤務しています。

現在、総合診療救急科に配属され、医師・看護師と協働し、救急搬入された患者さまの対応やトリアージ問診などの対応を行っています。まだまだ医学的知識が不足しており、毎日学ぶことばかりですが、優しい上司や気さくな先輩たちに恵まれ、楽しく仕事に取り組むことができます。これからは救命士の強みである病院前医療を活かせるよう、搬送業務、プレホスピタル活動と業務を拡大し、消防や地域との連携を図り、救急医療がより充実できるよう切磋琢磨していきたいと思ひます。

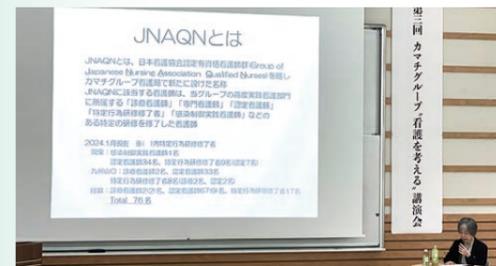
救急救命士

紹介



● 一日のスケジュール

- 8:00～ ラピッドレスポンスカードクターカー点検
- 8:30～ 朝礼
- 8:50～ ER内の環境整備
- 9:00～ ウォークイン患者対応
トリアージ・処置介助
救急患者対応
搬入時の初期評価・バイタルサイン測定、
検体提出、検査移動、心肺停止時の胸骨
圧迫・BVMによる補助換気、
気管挿管介助、転院搬送の介入、
物品補充・チェック、薬剤請求・補充、など
- 17:00～ 業務終了



第3回 カマチグループ “看護を考える” 講演会



先日、第3回カマチグループ「看護を考える講演会2024-未来の看護師を考える」の講演会がありました。今回は既存の看護の枠組みを超えて「専門職連携」に期待されるものは何か、未来の看護師のあり方を問う、講演会を行いました。講師に千葉大学大学院看護研究院附属専門職連携教育研究センター(IPERC)センター長 酒井郁子先生をお招きし、テーマとして、「これからのIRE (専門職連携教育)・IPCP(専門職連携協働実践)」の講演会をしていただきました。内容としては、連携教育のカリキュラムや高度看護実践にむけて、専門職連携が必要不可欠であるということに改めて学ぶ機会となりました。その後のシンポジウムとして、カマチグループ関連病院における専門職連携の現状と展望として、それぞれの専門職が医療に携わるなかで、実践したことに対して発表を行いました。また、日本看護協会認定有資格看護師群(当院ではJNAQN)が実際の医療の現場で活動した内容や今後の看護のあり方として、どうあるべき姿か、ディスカッションも交えての発表を行い、医療のあり方を見直す機会となりました。今回はカマチグループ職員のみでしたが、今後は近隣医療機関の皆さまにも参加して頂けるような講演会を開催し、講演会を通して、地域医療の活性化につなげていけるようにしたいと考えております。

第三回 カマチグループ「看護を考える」講演会

認定 看護師 シリーズ



がん化学療法看護認定看護師
平山 理恵

● 「いのち、痛み」に全力

「がん」の治療は、手術療法、薬物療法、放射線療法の組み合わせ治療が増えています。がん薬物療法は日々進化し、患者さまに合った個別化医療が進み新規薬剤が増え、副作用の種類も多岐に亘っています。そんながん薬物療法に立ち向かう患者さまと副作用の対策などを共に考え、治療生活を乗り越えられるように関わることが私の役割だと考えています。がん薬物療法は決して楽な治療ではありません。副作用の予防や副作用の



早期発見、対策を患者さまに習得していただき、副作用が最小限になるよう支援することが重要です。また、仕事や家事など日々の生活と治療が共存している患者さまも多く、外来治療に来院された時には状況をお聞きし、大変さや辛さを共感できるようコミュニケーションを図っています。がん薬物療法は長期間に及ぶことも多く、通院が負担にならない病院を選択されることも大切になります。当院には腫瘍内科を始め、各専門分野の医師、薬剤師、看護師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、理学療法士・作業療法士と協働して患者さまの治療生活をサポートしています。



足のむくみ
慢性的に
疲れる

足の血管が
ぼこぼこ
してきた

足の血管が
網目・蜘蛛の巣状に
浮き出てきた

足の皮膚が
黒ずんできた

第5回 市民公開講座

下肢静脈瘤とは 足の病気について知ろう

2024
9.21 SAT
10:00-12:00

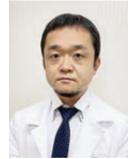
会場 ※9:30受付開始
福岡和白病院 PET棟2階 大会議室

スケジュール

01 10:05-10:25

下肢静脈瘤の正しい知識

循環器内科医長 伊元 裕樹 先生



02 10:30-10:50

下肢静脈瘤の治療とは？

血管外科・血管内治療部長 手島 英一 先生



03 10:50-11:00 休憩（体操教室の準備）

04 11:00-12:00 体操教室

※体操教室に参加される方は、動きやすい服装と運動靴で
ご参加ください。

司会

内科・循環器内科統括部長
有田 武史 先生

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本循環器学会循環器専門医
- 日本心血管インターベンション治療学会認定医



申込方法

参加ご希望の方は下記QRコードより
お申し込みください。

参加費
無料



スマホ・タブレットから
QRコードを読み取り申し込む▶



主催 地域がん診療連携拠点病院

社会医療法人財団 池友会 **福岡和白病院**

福岡市東区和白丘2-2-75 <https://www.f-wajirohp.jp>

092-608-0001

【窓口】医療連携室（受付）月曜～土曜 9時～17時まで

心臓血管外科
企画

福岡ハートラボ開催



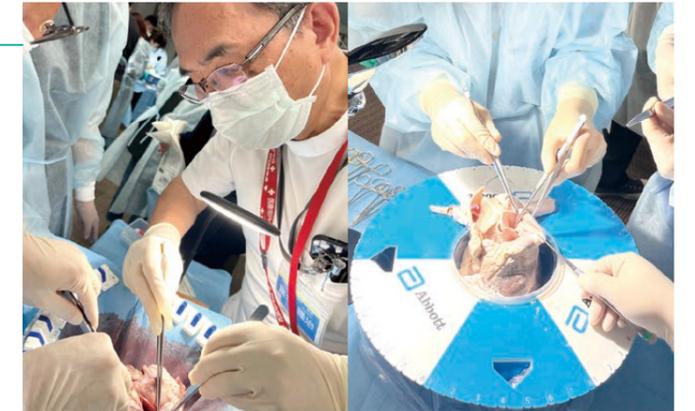
先日、福岡和白病院にて「Abbott様」「Johnson&Johnson様」ご協力の元
福岡ハートラボを開催しました。

午前中は心臓血管外科部長 元春洋輔先生が「心臓の解剖について」と心臓血管外科医師 北條竜司先生が「人工弁置換について」の講義を、午後からは副院長 兼内科・循環器内科統括部長 有田武史先生が「心工コーについて」の講義を行いました。

実際に体験しました！

講義だけでなくブタの心臓を用いた弁置換・弁形成などの体験会も行いました。参加者でいくつかのグループに分かれ、元春先生の手元を撮影した映像をお手本に、実際に挑戦！

参加者が躓いた時は医師がサポートし最後まで取り組んでいました。看護師、臨床工学技師、放射線技師、薬剤師などの多職種が参加し、日頃手術に直接関わらないスタッフが、興味津々に縫合体験を行っていました。



開催を終えて

今回の福岡ハートラボを企画した元春先生は、「福岡和白病院の職員教育の一環として開催した。非常に有意義な時間になったのではないかなと思う。」と話しており、「今後は院内職員だけでなく近隣医療機関の皆さまともこのような研修を行っていきたい。」と意気込みを語っておられました。

福岡和白病院は今後も職員教育に力を入れていき、患者さまへ質の良い医療を提供していけるように精進してまいります。



第3回 令和健康科学大学 大学祭

れいわさい

令愛祭

はんあいはくし
汎愛博施 ~ここに愛はある~

テーマ

日時 10月13日(日) 10:00~18:30

場所 令和健康科学大学 入場無料

出店
じゃがバター・ドーナツ・チョコロス・焼きそば・唐揚げなど

ビンゴゲーム
来場者参加型企画!
超豪華景品をご用意!

ステージ企画
令健大の学生がダンスや歌を披露します

アミューズメント
お化け屋敷・ボーリング・スーパーボールすくい・巨大ジエンガなど

※内容は変更になる場合があります



お問い合わせ
令和健康科学大学 大学祭実行委員会
☎ 092-607-6716 (学務課学生係直通)

当日までの準備の様子は大学公式Instagramにて公開予定です

アクセス
福岡和白病院南口より徒歩30秒!
JR福工大前駅より徒歩15分 JR・西鉄和白駅より徒歩5分
※当日は公共交通機関の利用にご協力ください



福岡和白病院の福利厚生の一環として新宮海岸にて海開きを開催しました。近年はコロナ禍で開催できずにいましたが、昨年から海開きを再開し、今年は300人以上の職員および職員家族が参加しました。当日はBBQや海水浴、スイカ割りなどを行い、大盛況でした。職員も日頃の疲れをとり、リフレッシュできたのではないかと感じています。当院は福利厚生が非常に充実しており、働きやすい環境が整えられています。この働きやすい環境を通して、地域の皆さま、患者さまに質の良い医療を提供できるように精進してまいります。

海開き開催

医療連携医のご紹介 医療連携室 だより

てらさか内科・外科クリニック



院長 寺坂 壮史

外科医として20年、そのうち13年は一般外科と並行して腎臓移植を専門としてきました。移植は手術だけでなく、その後の健康管理が非常に大切です。移植後の患者さまが気軽に受診し、なんでも相談できる場所を作りたいと思い、開業しました。もちろん、外傷や一般外科疾患もお任せください。



副院長 寺坂 喜子

私は寿命や生活の質に関わる動脈硬化予防を目標に糖尿病専門医になりました。糖尿病・内分泌内科に所属し、甲状腺異常などを含む内分泌疾患の診療にも携わってきましたので、ホルモンの異常など他の疾患から引き起こされる症状をただの生活習慣病と診断するようにならないように気を配っています。また健康全般の相談相手になれることを目指して総合内科を勉強してきました。体質も性格も人それぞれです。一人一人の体に残っている力を生涯にわたって維持し、その人らしい人生を支えるお手伝いをしたいと考えています。当クリニックが皆さまの元気や笑顔のもとになれるよう努めてまいります。



待合室



診察室

てらさか内科・外科クリニック

院長:寺坂 壮史
副院長:寺坂 喜子
診療科:内科全般・外科・移植外科
住所:福岡市東区箱崎3-5-42エフタス2F
電話:092-402-1225
駐車場:完備

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	／	●	●	●	●	●	／
14:30~18:00	／	●	●	●	●	●	／

休診日:月曜日・日曜日・祝日



ホームページ
<https://www.f-wajirohp.jp/>



Facebook
<http://www.facebook.com/wajiro>



YouTube 福岡和白病院チャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCqg7CXkLPgWQ3g_-xwIvzq0

基本理念

手には技術、頭には知識、患者様には愛を

基本方針

1. 高度医療 学問的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
2. チーム医療 患者さまの目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。
3. 地域医療 いつでもだれでも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。

患者の権利と義務

1. 思いやりのある、人権を尊重した医療を受ける権利があります。
2. 担当医師から症状及び治療方法について説明を受け、良く理解した上で自らの意思に基づき治療方法を選択したり、セカンドオピニオンを求めたり、また治療を拒否する権利があります。
3. プライバシーを保護される配慮を受ける権利があります。
4. 医療費の請求書の明細について説明を受ける権利があります。
5. より良い医療を受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加する権利と他の患者様や医療従事者に支障を与えないよう配慮していただく義務があります。



交通アクセス

福工大前駅 (JR) から徒歩15分
和白駅 (JR) から徒歩10分
和白丘バス停 (西鉄) から徒歩3分
和白駅 (西鉄) から徒歩10分
福岡空港から車で約30分

社会医療法人財団 池友会 **福岡和白病院**

〒811-0213 福岡市東区和白丘2-2-75 E-mail info@f-wajirohp.jp

TEL.092-608-0001 (代)



災害拠点病院 開放型病院 地域医療支援病院
救急告示病院 基幹型臨床研修指定病院
日本医療機能評価機構認定病院 がんゲノム医療連携病院
地域がん診療連携拠点病院 福岡県 DMAT 指定医療機関

